

地盤沈下の可能性や、地震、高潮対策も考えなければならない状況です。

これに、政府は改良工事にかかる工期や費用の見通しを一切、示していません。安倍首相は1月末の国会で「現時点で確たることを申し上げるのは困難」と、無責任な発言を行いました。

地盤改良工事には設計計画の変更が必要ですが、玉城デニー知事は申請を認めない意向です。繰り返して示された「辺野古ノー」の民意に反し、移設を進めることは政治的にも無理な状態です。

この間、政府は軟弱地盤の存在を知らず、浅瀬での土砂投入を先行して、既成事実を積み重ねてきました。沖縄の県民投票の結果が、7割が「反対」であり、政府の無視する構えは許されません。現行計画の行き詰まりが明らかになった今、政府に求められるのは、工事を停止し、米国政府と代替案を探る協議を始めることです。

5 野党幹事長、参院選1人区一本化へ協議開始

20日、自由党の森裕子幹事長、共産党の小池晃書記局長、立憲民主党の福山哲郎幹事長、国民民主党の平野博文幹事長、衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」の玄葉光一郎幹事長、社民党の吉川元幹事長の5党の幹事長・書記局長が、国会内で会談し、夏の参院選に向けて32ある改選数1の「1人区」での候補者一本化協議を行いました。

今後、隔週ペースで協議を進め、調整が付いた選挙区から順次発表することで合意しました。また、野党共闘を後押しする団体「市民連合」と各党が個別に政策協議を進める方針も確認しました。さらに、参院選に合わせた衆院解散の可能性も視野に、緊密に情報交換していくことでも一致しました。

1人区では、統一候補のめどが立っているのは熊本、大分の2選挙区にとどまらず。一方で、立憲民主党と国民民主党が各6人、共産党が23人の擁立を決めており、群馬、岐阜、滋賀、岡山など12選挙区で野党系が競合しています。



参院岩手選挙区に横沢氏 3野党が統一候補合意

しんぶん赤旗の報道によると、参院岩手選挙区（改選数1）の野党統一候補について日本共産党岩手県委員会、自由党岩手県連、社民党岩手県連合は18日、元パラリンピック選手の横沢高德氏（46）を擁立する方針で合意しました。国民民主党岩手県連も入った野党共闘調整会議終了後、3野党が県庁で記者会見し、発表しました。

4野党は昨年4月から17回にも及ぶ調整会議を開催しました。合同街頭演説、沖縄県知事選勝利報告集会、本格的な野党共闘の実現に向けた4野党本部間の協議促進を求める要望書提出など、共闘の努力を重ねてきました。



その上に立って4野党は1日、10項目の共通政策で合意、10月からの消費増税中止▽安倍改憲阻止、安保安法制廃止、安倍政権打倒▽辺野古への新基地建設中止▽「原発ゼロ」の日本▽日米FTA（自由貿易協定）交渉の中止▽大震災津波からの復興▽毎月勤労統計、森友・加計疑惑の全容究明一などを確認してきました。なお、立憲民主党は県連がありません。

今回、横沢氏は無所属で立候補します。会見した共産党県委員会の斉藤信副委員長は「統一候補選定で真剣な協議を続けた結果、3野党は横沢氏に決定した」と述べ、現状では国民民主党の賛同を得られなかったが、党本部間の協議を踏まえて、4野党の共闘ができるようにひきつづき努力すると強調しました。

19日に岩手県入りした小池晃書記局長は、記者の質問に答え、「私たちは、今年の参院選の32ある1人区すべてで野党の候補者を一本化して、相互に支援しあう本気の共闘で自民党に勝とうとやってきました。4党で政策の合意もされているわけですから、ぜひ国民民主党もふくめて一致できる方向に、党本部間でもそういう働きかけをしていきたい。席は空けていますので、ぜひ国民民主党にも、ともに加わっていただいて、4党で結束してたたかう選挙にしていきたい」と述べました。

◇横沢氏の略歴 岩手県矢巾町生まれ、盛岡工業高卒。1997年に脊髄を損傷し、車いす生活に。2010年バンクーバーパラリンピックでアルペンスキー日本代表選手として出場しました。

滋賀では前県知事の嘉田由紀子氏を野党統一候補で調整へ

報道によりますと、参院選滋賀選挙区（改選数1）で、立憲民主党と国民民主党が、前滋賀県知事の嘉田由紀子氏を野党統一候補にする方向で調整していることが分かりました。両党を仲介する武村正義元官房長官が18日、大津市内での会合で明らかにした。

同選挙区では、国民民主党が嘉田氏を推す一方、立憲民主党は田島一成前衆院議員の擁立を主張していました。一本化で合意すれば、両党は新人の擁立を決めている共産党にも協力を呼び掛けるとしています。

各地のとくみ

北海道 「安倍政権いまずぐ退陣」「改憲発議絶対止めよう」とアピール

「戦争させない北海道委員会」は19日、安倍政権退陣を求め、札幌市で総がかり行動にとりくみました。

札幌駅前に集まった250人が「安倍政権いまずぐ退陣」の横断幕、「改憲発議絶対止めよう」のプラカードでアピールしました。

初めて参加した北区の女子学生（20）は、「アメリカからの武器の爆買いは許せないし、安倍政権がすすめる『戦争する国』づくりにつながる改憲は絶対とめたい」と語り、西区の女性（72）は「安倍政権いなるの道政を変える絶好のチャンス。市民と野党の共闘で何としても勝利したい」と語りました。

道平和フォーラムの長田秀樹代表は、安倍首相が憲法に自衛隊を明記し、違憲論層に終止符を打つと表明したと批判。「自衛隊員募集で自治体から協力を得ていないから9条に自衛隊の明記が必要と、事実を歪曲する首相に憲法を語る資格はない」と述べました。

安保破棄道実行委員会の木幡秀男事務局長は「高橋道政は、日米演習にいつさい反対していない。私たちの力で米軍は来るな、演習反対の知事を誕生させよう」と訴えました。

日本共産党の、はたやま和也前衆院議員が参加し、参加者と共にアピールしました。

青森・八戸 35人で安倍9条改憲NO！戦争廃止求めるスタンディングアピール

「安倍9条改憲NO！戦争廃止求めるスタンディングアピール」が19日、青森県八戸市の三日町交差点周辺で行われました。35人が参加し、「アベ政治を許さない」「まもろう憲法9条」のポスターを掲げ、市民にアピールしました。

戦争法廃止を求める三八連絡会の内田弘志代表は、「安倍首相は事実と反して『自治体が自衛隊募集に協力しない』とデマをもとに9条への自衛隊明記を進めようとしている」と批判。「憲法に反する集団的自衛権を盛り込んだ違憲の法律です。戦争法廃止をめざし、一緒にがんばろう」と市民に呼びかけました。

リレートークには、新日本婦人の会八戸支部の中屋敷和子さん、日本共産党の苫米地あつ子市議、久保将市議候補が思いをこもごも語りました。

参加者全員で「安倍はやめろ」「消費税増税は中止せよ」「憲法を暮らしに生かせ」と元気いっぱいコールを響かせました。

山梨・甲府 「戦争法廃止、改憲阻止をめざす」19日集会を開催

「戦争をさせない・9条壊すな！山梨行動実行委員会」は19日夜、甲府市のJR甲府駅南口で「戦争法廃止、改憲阻止をめざす」19日集会を開催しました。

降りしきる雨の中、リレートークで日本共産党、国民民主党、立憲民主党など野党の代表と市民らが「参院選で野党共闘を勝利させ、安倍政権を退陣に追い込もう」と訴えました。

共産党の花田仁県委員長は「ウソと偽りの政治を続け、社会保障を切り捨てながら大軍拡、消費税増税、9条改憲を狙う安倍政権は一刻も早く終わらせよう」と訴えました。

山梨9条の会の戸田康代表は、立憲主義と個人の尊厳回復をめざす市民連合結成を準備していることを報告。「みんなの力で、野党共闘の勝利へ全力を尽くしたい」と語りました。

山梨市民府アクションの今井拓代表は、3000万人署名が県内で14万2千人をこえたことを報告。「早急に15万人分を超え、改憲を阻止しよう」と呼びかけました。

立憲民主党の宮沢由佳参院議員と中嶋克仁衆院議員（無所属）から連帯のメッセージが寄せられました。

集会後、参加者全員で「安倍政権打倒」「消費税増税阻止」等とコールしました。